

「外国人相談により発掘された 見えないニーズに対する日本語教育」事業報告会

令和7年度、CINGAでは「見えないニーズ」に対して、日本語学習への入り口をつくるために、昨年度に引き続き、外国人相談通訳者とともにその方策を探りました。対象をネパール人とし、日本語教育のほかに、コミュニティリーダーや支援団体への調査も行いました。結果と考察を報告します。

日時

2026年 2月20日（金）10:30～12:00

プログラム

zoomによるオンライン開催 参加費無料
*要事前申込

- 1) 取組報告
 - ・事業の背景
 - ・ヒアリング調査と日本語教育の結果
- 2) 質疑応答、意見交換

事業の背景

CINGAは少数言語の通訳者や相談者を擁し専門家相談事業を実施しています。コロナ禍で相談事業を実施する中、エスニックコミュニティの中で生活がほぼ完結し、日本語や日本社会に接点を持たずに生活している外国人が疫病の流行や災害など特殊な状況に置かれた際に、さまざまな問題につながることが浮き彫りとなりました。

見えないニーズとは？

これらの「日本語や日本社会に接点を持たずに生活している外国人」つまり、「日本社会と接点が薄い人や日本語学習ニーズが顕在化していない人々」を「見えないニーズ」と考えました。

参加対象

自治体、国際交流協会等の地域日本語教育関係者、社会福祉協議会、地域団体など

お申し込み

<https://forms.gle/bTcoByeUUiWxMF537>



特定非営利活動法人 国際活動市民中心 (CINGA)

担当：地域日本語研究チーム：萬浪、西山

✉ cinganihongo21@cinga.or.jp ☎ 03-6261-6225

